

災害から身を守る『備え』について

令和 年 月 日
広島市地域防災リーダー

本日の講座（ポイント）

平成30年の災害

平成30年7月豪雨災害の概要と教訓

地域の危険性

土砂災害、洪水、高潮、地震、津波などの地域の危険性を確認

個人の備え

災害前：情報入手手段、避難先、非常持ち出し品、家庭内備蓄
災害時：避難行動

共助（助け合い）

自主防災組織の活動、
地域の防災マップ作成、防災訓練等の企画（参加）

7月5日～7月6日の動き



7月5日（木）

09時21分 大雨警報発表



（この間、一旦小康状態）

7月6日（金）

14時05分 土砂災害警戒情報発表

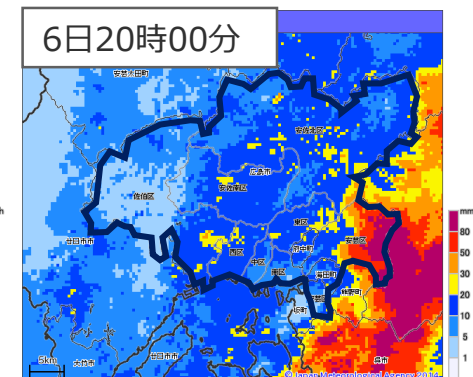
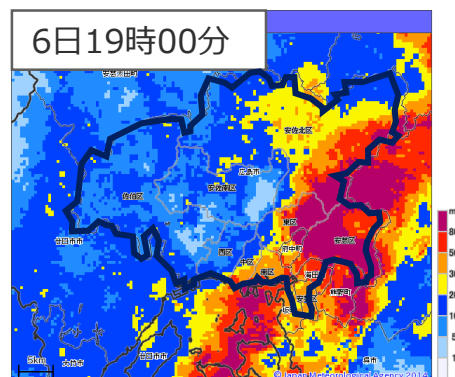
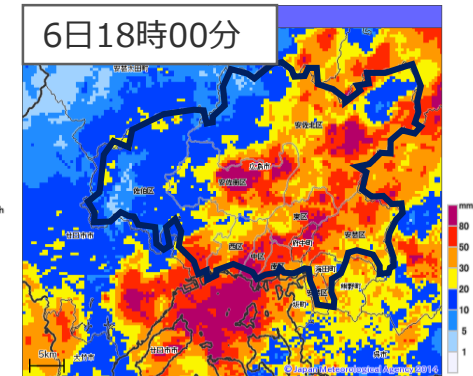
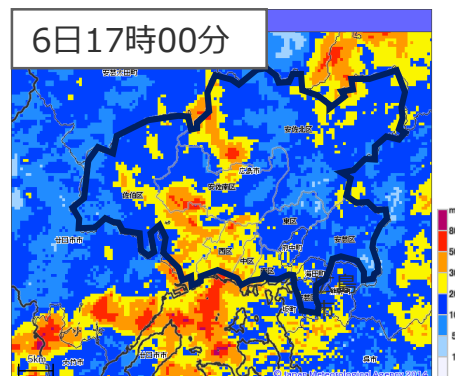


一部の地域に避難勧告発令
他の地域一体に避難準備発令

（18時30分までに
順次避難勧告に切り替え）

19時40分 大雨特別警報発表

○ 高解像度降水ナウキャスト（気象庁）



平成30年7月豪雨の概要

1. 被害状況

人的被害		物的被害				
死者	不明者	全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水
26人	2人	171件	421件	152件	1,324件	1,022件

※ 災害関連死 3名を含む

2. 気象状況 200年に1度の大雨！

観測局	累積雨量	備考
安芸区役所矢野(出) (広島市安芸区)	489mm	7月5日～8日13時 までの累積雨量
狩小川分団湯坂車庫 (広島市安佐北区)	482mm	
安芸区役所 (広島市安芸区)	480mm	

雨の強さと被害

1 時間雨量 (mm)	予報用語	雨の降り方
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る。 家の中では雨の音で話し声がよく聞きとれない
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り。 小さな川や道路わきの溝から水があふれる
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。 道路が川のようになり、山崩れやがけ崩れが起きやすくなる
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る。 <u>マンホールから水がふき出す。</u> 水しぶきで周囲が白くなり、視界不良になる。
80以上	猛烈な雨	恐怖を感じる。 雨による大きな災害が起きる危険があり、厳重な警戒が必要

台風の強さと被害

台風の大きさ の階級分け	階級	風速15m/秒以上の半径
	大型（大きい）	500km以上～800km未満
	超大型（非常に強い）	800km以上

台風の強さ の階級分け	階級	最大風速（m/秒）
	強い	33以上～44未満
	非常に強い	44以上～54未満
	猛烈な	54以上

平均風速 (m／秒)	風の強さ (予報用語)	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m／秒)
10以上 ～15未満	やや強い	傘がさせない	樹木全体が揺れ始める 電線が揺れ始める	道路の吹き流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に流さ れる感覚を受ける	樋（とい）が揺れ始める	20
15以上 ～20未満	強い風	転倒する人も出る 高所での作業はきわめて危険	看板やトタン板が外れ始める	高速運転中では、横風に流される 感覚が大きくなる	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。 雨戸やシャッターが揺れる	
20以上 ～25未満	非常に 強い風	何かにつかまらないと立てない 飛来物によって負傷するおそれ がある	細い木の幹が折れたり、根の 張っていない木が倒れ始める 看板が落下・飛散する 道路標識が傾く	通常で速度で運転するのが困難に なる	屋根瓦・屋根葺材が飛散するものがある 固定されていないプレハブ小屋が移動、 転倒する ビニールハウスのフィルムが広範囲に破 れる	30
25以上 ～30未満				走行中のトラックが横転する	固定の不十分な金属屋根の葺材がめく れる 養生の不十分な仮設足場が崩落する	40
30以上 ～35未満	猛烈な風	屋外での行動はきわめて危険	多くの樹木が倒れる 電柱や該当で倒れるものがある ブロック壁で倒壊するものがある		外装材が広範囲にわたって飛散し、下 地材が露出するものがある	
35以上 ～40未満			住家で倒壊するものがある 鉄骨構造物で変形するものがある		60	
40以上						

被災状況

安芸区矢野東 梅河団地
土石流の警戒区域指定に係る
基礎調査結果（H30.5 公表）

一説によると・・・
昔の地名は「埋河」だった。
（縁起のいい「梅」の字に？）

【平成26年8.20豪雨災害】
被災地の地名
過去：蛇落地
現在：上楽地



被害状況（安芸区矢野東）



土石流で川がガードレールの高さまで埋まる
(普段は約 1 m 下の川底に水が少し流れている)



2 階が無事。垂直避難でも命を守れた…かも
(でも奥の家だと…)
「垂直避難で 2 階に寝てれば絶対大丈夫」ではない。

何が避難を難しくさせたのか

アンケート調査によると、避難情報は約 8 割の方が入手していた。
しかし、避難行動をした人の割合は 2 割、通勤経路上で立ち往生した人も…

- ・「避難したかったけど、周りが避難していなかった」
⇒正常性バイアス（集団同調性バイアス）という心理
- ・「矢野東という名前がなかった」
⇒避難情報の発令区分の認識の不足（矢野東地区は矢野小学校区）
- ・「危ないと思ったから避難した」
⇒大雨特別警報をきっかけとしたのであれば遅い

もし、災害が発生する前に
地域の危険性を把握していたら…
避難情報の意味を正しく理解していたら…
避難情報が出た際の行動を話し合っていたら…

本日の講座（ポイント）

昨年 7 月の災害

平成 3 0 年 7 月豪雨災害の概要と教訓

地域の危険性

土砂災害、洪水、高潮、地震、津波などの地域の危険性を確認

個人の備え

災害前：情報入手手段、避難先、非常持ち出し品、家庭内備蓄
災害時：避難行動

共助（助け合い）

自主防災組織の活動、
地域の防災マップ作成、防災訓練等の企画（参加）

1-1 地域の危険な区域を調べよう

避難勧告などの避難に関する情報は、土砂災害警戒区域や浸水想定区域などの危険区域を対象に発令します。地域の危険な区域や避難場所をあらかじめ確認しておきましょう。

ハザードマップ

土砂災害・洪水・浸水の危険性がある区域や、地域の避難場所を地図上に示したハザードマップを、広島市ホームページで公開しています。

県が危険な区域を調査・公表、
県が作成したデータを活用し、
市がハザードマップを作成



わがまち防災マップ

わがまち防災マップとは、地域の皆さまが、土砂災害危険区域などの危険情報をもとに、地域の危険箇所や避難場所などの地域独自の情報を盛り込んで作成する防災マップです。



詳しくは46・47ページを確認!

広島市防災ポータル

広島市防災ポータルでは、お住まいの小学校区にある危険な区域や避難場所などを確認することができます。

広島市防災ポータル 検索



お住まいの小学校区の防災情報を確認する

①に住所または小学校区を入力し、検索をクリック。

小学校区の避難情報

小学校区名	白島
区	中区
災害リスク情報	
土砂災害	現時点では想定されていません。
洪水	現時点では想定されていません。
高潮	現時点では想定されていません。
津波	現時点では想定されていません。

避難勧告等発令状況

発令状況	災害種別			
	土砂	洪水	高潮	津波
発令時刻	2017/01/23 10:00	2017/01/23 10:00	2017/01/23 10:00	2017/01/23 10:00

小学校区内の指定緊急避難場所、
指定避難所の名称や、
対応する災害種別、開設状況など

施設名称	地図	指定緊急避難場所				指定避難所	開設状況
		土砂	洪水	高潮	津波		
小学校 001	●	○	×	3F	×		○

注意事項

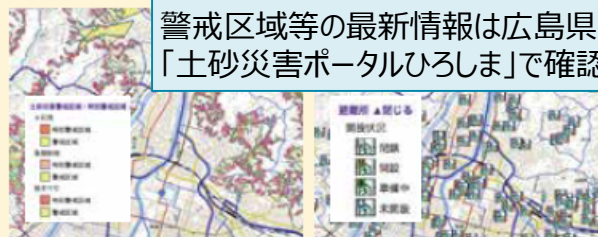
- ・お住まいの区や小学校区に関係なくいずれの避難場所へも避難できます。
- ・全ての避難場所が開設されているわけではありませんのでご注意ください。
- ・表中の○、3F、2Fはその災害種別に対応していることを示しています。
- ・表中の3F、2Fは、それぞれ施設の3階以上、2階以上が対応していることを示しています。

避難所の場所は地図上でも確認できます
(防災情報マップ)。

危険区域や避難場所は「防災情報マップ」から確認

②防災情報マップをクリック。

警戒区域等の最新情報は広島県HP
「土砂災害ポータルひろしま」で確認可能



危険区域

避難場所

(例)洪水ハザードマップ

< 袋町・竹屋・中島 小学校区 > 旧太田川・元安川が氾濫した場合

想定降雨条件 概ね200年に1回起こる大雨で、太田川流域において2日間の総雨量が396mmの降雨がある場合により、旧太田川・元安川が氾濫した場合を想定
(平成29年4月19日公表)

基準水位観測所 三篠橋 (広島市中区基町1番地)

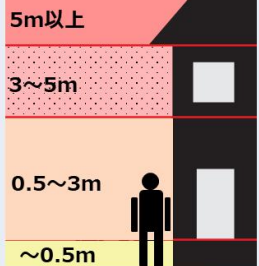
※想定し得る最大規模の降雨がある場合の区域等し、他には、各機関のホームページでご確認ください。

No.	指定緊急避難場所の名称	所在地	階数	洪水	土砂	高潮
①	大手町第一公園集会所	大手町二丁目5-24	3	○	○	○
②	大手町商業高等学校	大手町四丁目4-4	4	②	○	②
③	袋町小学校 (袋町児童館含む)	袋町6-36	4	○	○	②
④	国泰寺中学校	国泰寺町一丁目1-41	3	②	○	②
⑤	袋町学区会館 (国泰寺集会所)	国泰寺町一丁目3-31	2	②	○	—
⑥	西平塚集会所	西平塚町6-9	2	○	○	—
⑦	竹屋公民館	宝町3-15	2	○	○	—
⑧	竹屋小学校	鶴見町8-49	3	○	○	③
⑨	竹屋保育園	鶴見町11-25	2	○	○	—

- 太枠で囲んだ施設は、小学校区内で第1順位で開設する施設です。
- 災害種別の欄の「○」印は、その災害に対する避難場所として、指定していることを示しています。
- 表中の高潮、洪水の○付数字については、当該施設が浸水想定区域内に所在するため、その数以上の階を避難スペースとして活用できることを示しています。

凡例

〔想定される浸水深〕



浸水時緊急退避施設

【ハザードマップを見るとききの注意点】

家1軒ごとの危険性の違いは表現できない、「色が塗られていないところは安全」ではない
⇒地域の危険性がある部分として広く理解することが大切

本日の講座（ポイント）

平成30年の災害

平成30年7月豪雨災害の概要と教訓

地域の危険性

土砂災害、洪水、高潮、地震、津波などの地域の危険性を確認

個人の備え

災害前：情報入手手段、避難先、非常持ち出し品、家庭内備蓄
災害時：避難行動

共助（助け合い）

自主防災組織の活動、
地域の防災マップ作成、防災訓練等の企画（参加）

1-2 防災情報を入手しよう

災害発生時に情報を入手することは、被害を抑えたり、避難の判断をする上でとても大切です。その一方で、災害時は不確かな情報やデマが広がりやすく、不安な心理状態では誤った情報も信じてしまいがちです。誤った情報に惑わされないためにも、広島市や公的機関が発信する防災情報を入手するようにしましょう。



広島市防災情報メール ※事前の登録が必要です。

避難勧告の発令や大雨特別警報の発表、開設している避難場所などの情報をメールで伝えます。



entry@k-bousai.city.hiroshima.jp
登録用メールアドレスに空メールを送って
事前登録をしてください。

突然の停電でも入手可能な手段を
確保しましょう

広島市防災ポータル

発令中の避難情報や避難場所の開設情報を、インターネットサイト「広島市防災ポータル」から確認できます。ハザードマップも確認できます。

詳しくは3ページを確認！

広島市公式Twitter・Facebook

災害発生時や災害の危険がある場合に、避難情報の発令状況や避難場所の開設情報などを発信します。



広島市ホームページ

災害発生時や災害の危険がある場合に、広島市ホームページのトップページの「緊急情報」で、避難情報の発令や避難場所の開設情報などをお知らせします。災害情報をまとめた「緊急災害情報サイト」からも災害情報等を確認することができます。



広島市

検索

このほか、防災行政無線やテレビのデータ放送からも防災情報が入手できます。

TOPICS 広島市避難誘導アプリ

広島市では、令和2年4月に、避難誘導アプリを導入する予定です。

●機能

- 避難情報（警戒レベル）や国民保護情報、気象情報の通知
- 避難場所の開設状況
- 避難場所までのルート検索
- 土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などの危険な区域の確認
- 広島市防災ライブカメラの映像確認
- 安否確認サービスへの案内
- 英語、中国語及び韓国語での翻訳機能

※令和

●利

令和

4月から運用開始！
「広島市 防災アプリ」で検索



防災情報メールと緊急速報メールの配信内容

広島市：(発令)【警戒レベル4】避難勧告（〇区）

〇区災害対策本部から【警戒レベル4】避難勧告の発令についてお知らせします。

【対象区域】

〇〇、〇〇、〇〇小学校区の土砂災害危険箇所等

【開設する避難場所】

〇〇小学校、〇〇小学校、〇〇児童館

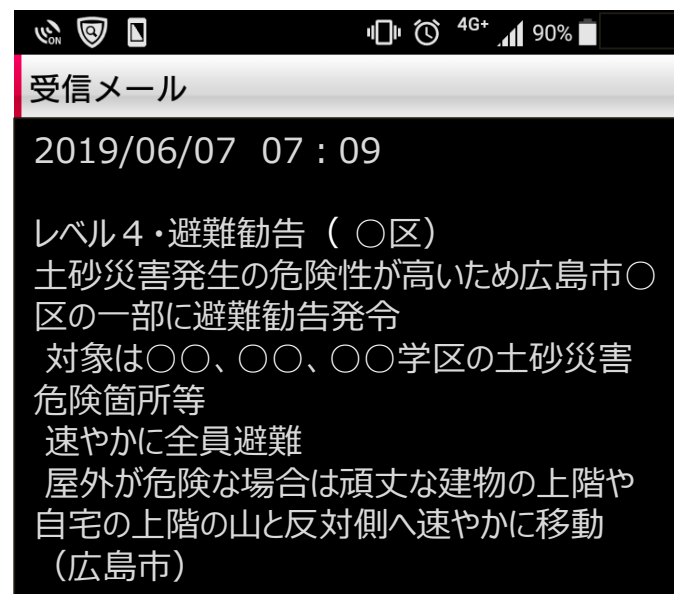
大雨による土砂災害の危険性が高まっているため、対象区域に、【警戒レベル4】避難勧告を発令しました。避難場所、知人宅などへ速やかに全員避難を開始してください。

避難場所への避難が危険な場合は、付近の堅固（鉄筋コンクリート造等）な建物の上階や自宅の上階の山と反対側に速やかに避難してください。

準備しておいた飲料、食料などを持って避難してください。

詳しくは以下のホームページで
<http://www.bousai.city.hiroshima.lg.jp/>

（参考）緊急速報メールの場合



緊急情報を一斉に送信、データ量の多いものが送れない

⇒ 内容が制限される

雨が降り始めたら

テレビやラジオ、スマートフォンで気象情報を随時確認し、広島市から発信される防災情報を入手しましょう。

避難情報(警戒レベル)が発令されたり、危険と感じたら

避難情報(警戒レベル)が発令されたり、発令されていなくても危険と感じたら、すぐに避難しましょう。土砂災害の前兆現象があれば、大変危険ですので、すぐに避難してください。



※警戒レベル1は早期注意情報です。最新の防災情報を入手し、災害への心構えを高めましょう。

避難情報(警戒レベル)は、土砂災害警戒区域や洪水浸水想定区域などの危険な区域に滞在されている人に対して、小学校区ごとに発令されます。事前に自宅の小学校区を調べておきましょう。

防災情報入手について詳しくは4・5ページを確認!

避難するときは



- 運動靴を履いて動きやすい服装で避難しましょう
- 家族や近所の人と一緒に避難しましょう。子どもや高齢者から目を離さないように
- 川や用水路は危険なので、近づかないように
- 非常持ち出し品を持って避難しましょう

詳しくは10・11ページを確認!

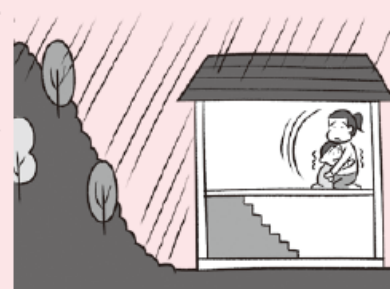
洪水や内水氾濫、高潮で浸水が始まっていたらむやみに外に出ず、自宅の2階以上に避難しましょう。

= 垂直避難

※ 警戒区域内での避難は、災害により孤立することも!
必要な物資や連絡体制などをあらかじめ整えておきましょう

どこへ避難するか

避難というと、地域の小学校など広島市が開設する指定緊急避難場所へ逃げることを想像される方が多いですが、それが全ての場合で適切とは限りません。真夜中や土砂降りの中で指定緊急避難場所へ移動するのは逆に危険な場合もあります。あらかじめ、近くの自主避難所を決めておくなど、状況に応じて適切な避難先を選択しましょう。



◆避難先の例

- ・土砂災害等の危険区域外の友人・知人宅
- ・近くの堅牢な建物
- ・屋外への避難が危険と感じたら自宅の2階以上で山から離れた部屋

「避難 = 市の避難所」ではない
避難 = 安全な場所へ移動すること

公的な避難先

災害の種別に応じて、安全な場所を選定

○ 指定緊急避難場所

災害の危険から逃れるための施設または場所

⇒開設した施設での滞在が困難な方がいる場合は、**福祉避難所**へ受け入れを要請



○ 指定避難所

災害により、自宅が倒壊・焼失し、生活の場を失った方への
臨時的な宿泊・滞在の施設

⇒開設した施設での滞在が困難な方がいる場合は、**福祉避難所**へ受け入れを要請



○ 浸水時緊急退避施設

津波・洪水・高潮などによる浸水により、逃げ遅れた市民の
緊急一時的な退避施設（例：マンションなどの共用部分）



市が指定する避難場所について



くらし・手続き 子育て・教育 健康・医療・福祉 まちづくり 文化・スポーツ 産業・雇用・ビジネス 観光 原爆・平和 市政全般

緊急災害情報サイト 防災(防災情報メール) **避難場所** 救急当番医 組織別分類から探す サイトマップ

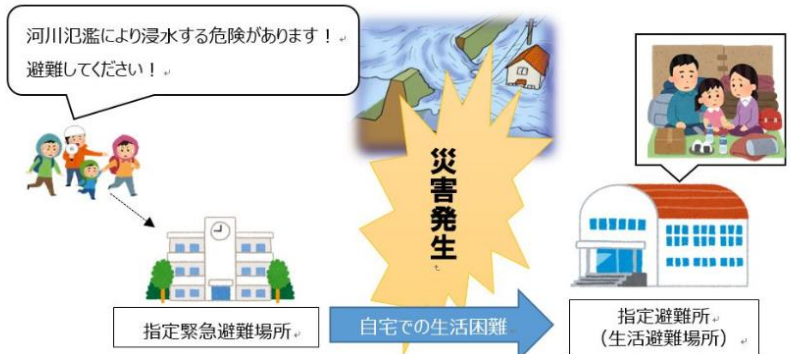
避難場所について

このページを印刷 通常ページへ戻る

自宅等が危険な区域内にある場合など、安全な場所へ移動が必要な場合は、以下の避難先が考えられます。

1. 安全な場所にある知人宅など一時的に安全な場所に移動
2. 地域で管理している集会所やあらかじめ地域と施設管理者で協定等を締結している施設等へ移動
3. 市が災害種別ごとに定める指定緊急避難場所へ移動

本市が定める避難場所等には、以下のとおり「指定緊急避難場所」と「指定避難所(生活避難場所)」の2つの種類があります。



河川氾濫により浸水する危険があります！
避難してください！

災害発生

指定緊急避難場所

自宅での生活困難

指定避難所(生活避難場所)

＜避難場所の留意事項＞

- ❑ 土砂災害及び洪水（河川氾濫）に関する「避難準備・高齢者等避難開始」を発令した場合、**原則として、小学校区で1箇所**避難場所を開設します。
- ❑ **すべての避難場所を開設するわけではありません**。開設した場合は、広島市防災ポータル、市防災情報メールやテレビなどでお知らせします。
- ❑ 市が開設した避難場所へは、**お住まいの小学校区・行政区に関わらず、誰でも避難**できます。
- ❑ 原則として、食料・飲料等の物資の配布はありません。**各自必要なものを持参**してください。

避難は必要か

地域の危険性、発令中の避難情報、気象情報などを
総合的に判断して、避難の必要性を自ら判断する

避難＝「安全な場所」へ移動すること ⇒ 以下の行動全てが「避難行動」になる

- ・ 市が開設する避難場所への避難
- ・ 近隣の高い建物への移動
- ・ 親戚や友人の家など、安全な場所への移動
- ・ 建物内の安全な場所で待機（山や崖から遠い部屋等）

隣近所で助けあって避難する

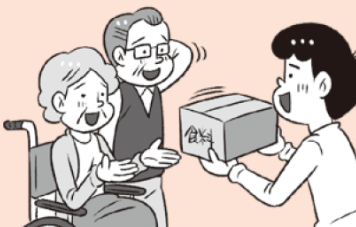
近所の人に声をかけて一緒に避難しましょう
高齢者や災害時に支援が必要な人が安全に避難できるよう助けましょう

2-5 避難所生活

避難所での生活は、不自由を強いられ、体調を崩したりストレスがたまりがちです。気持ちよく生活するために、ルールを守り、お互いに助け合しましょう。

周りへの気配り

居住スペースだけでなく食事や寝具など避難所の物資には限りがあります。また、避難所にいる人たちの生活リズムは全員が一緒ではありません。自分第一にならず、譲り合ったり気配りすることが大切です。



プライバシーの確保

個人や家族単位でプライバシーを確保できるよう、ダンボールなどを用いて間仕切りを設置しましょう。また更衣室や赤ちゃんの世話をするスペースを用意しましょう。



トイレの使い方を守る

災害で下水が流れなくなった場合、そのまま使うと衛生面がどんどん悪化してしまい、避難者のストレスとなります。また感染症の恐れも出てきます。汚いトイレの使用をためらい、水を飲むことを我慢し、脱水症状を起こす人もいます。施設が指定した使用方法を守ってトイレを利用しましょう。

防犯対策の徹底

不特定多数が生活する避難所には、どのような人がまぎれているかわかりません。現金や身分証などの貴重品は肌身離さず持ち歩くようにしましょう。また、女性や子どもは複数人で行動しましょう。怪しい人を見かけたら、警察へ通報しましょう。



体調管理

体調を崩さないよう、しっかりと水分補給や手洗いうがいをし、衣類を調節して寒暖に対応しましょう。また、狭いスペースに長時間座っているとエコノミークラス症候群になるので、定期的に体を動かしましょう。



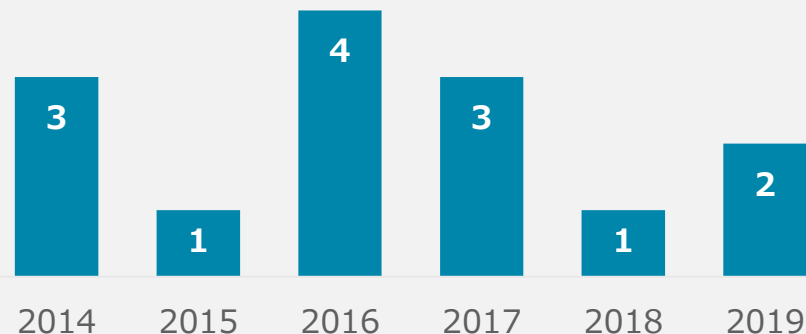
役割分担

避難所の運営は避難者が行います。気持ちよく避難生活を送るために、特定の人への負担が大きくなるように役割を分担し、避難者全員で協力し合しましょう。



災害を警戒するタイミング（例）

土砂災害警戒情報発表回数
(広島市)



広島県土砂災害警戒情報 第1号

平成26年8月20日 1時15分
広島県 広島地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】
広島市* 廿日市市*

*印は、新たに警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】

<概況>

降る続く大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。

<とるべき措置>

崖の近くなど土砂災害の発生しやすい場所にお住まいの方は、早目の避難を心がけるとともに、市町から発表される避難勧告等の情報に注意してください。

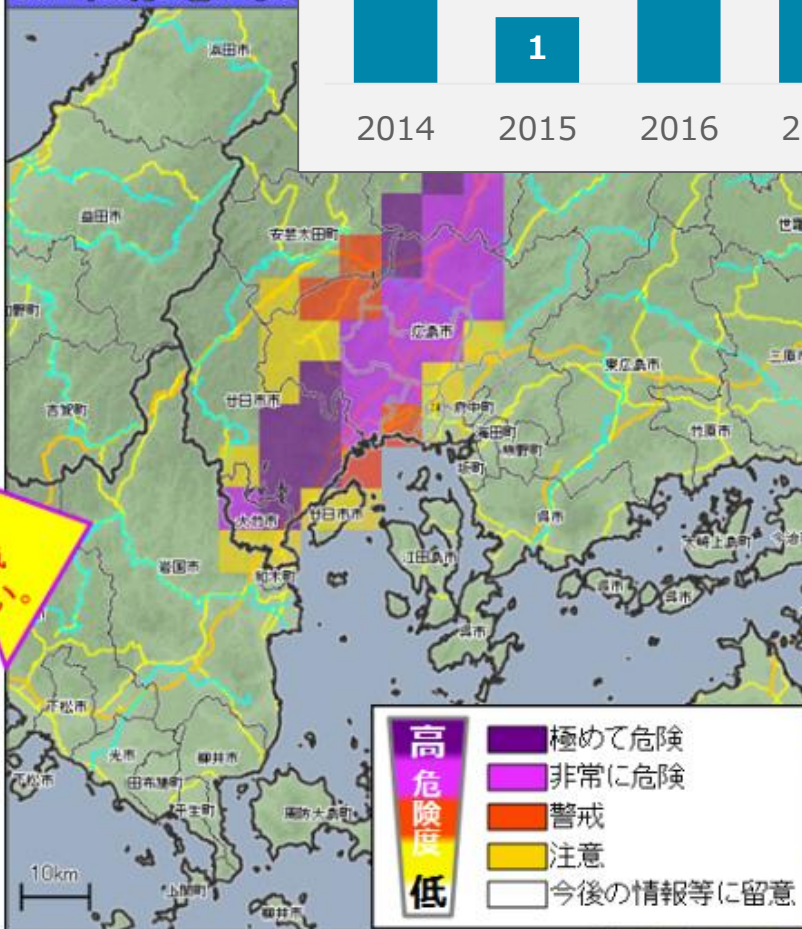
<補足情報>

危険度の分布は、インターネットで確認できます。〔広島県土砂災害危険度情報、気象庁土砂災害警戒判定メッシュ情報〕



警戒対象地域の中で
危険度の高まっている領域
(メッシュ)を確認してください。

2014年08月20日01時30



出典：気象庁HP

洪水であれば水位と河川カメラ（川の防災情報）も判断材料の一つに

五日市断層による地震	6強	安佐南区、佐伯区
	6弱	中区、東区、南区、西区、安佐北区、安芸区
己斐-広島西縁断層帯による地震	6強	中区、東区、西区、安佐南区
	6弱	南区、安佐北区、安芸区、佐伯区
安芸灘～伊予灘～豊後水道の地震	6弱	全区
安芸灘断層群による地震	6弱	中区、東区、南区、西区、安佐南区、安芸区、佐伯区
	5強	安佐北区
岩国断層帯による地震	5強	中区、東区、南区、西区、安佐南区、安芸区、佐伯区
	5弱	安佐北区
南海トラフ巨大地震	6弱	中区、東区、南区、西区、安佐南区、安芸区、佐伯区
	5強	安佐北区



(資料:「気象庁震度階級関連解説表」)

5 弱	・棚の食器、本棚の本が落ちることがある。 ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
5 強	・棚の食器、本棚の本で落ちるものが多くなる。 ・固定していない家具が倒れることがある。 ・補強されていないブロック塀が崩れることがある。
6 弱	・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。
6 強	・はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。 ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒壊するものが多くなる。
7	・耐震性の低い木造建物は、傾くもの、倒れるものがさらに多くなる。 ・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒壊するものが多い。

芸予地震 (2001.3.24)

阪神・淡路大震災 (1995.1.17)
 新潟県中越地震 (2004.10.23)
 東日本大震災 (2011.3.11)
 熊本地震 (2016.4.14/2016.4.16)
 北海道胆振東部地震 (2018.9.6)

2-2 地震

地震はいつ起きるか予測できませんが、広島市では震度6強の強い地震が想定されています(40ページ参照)。地震が発生したときに命を守る行動が取れるよう、日頃からイメージしておきましょう。

緊急地震速報 地震発生!



まずは身を守る

余裕があれば、机が動かないように脚を持つ

揺れが収まったら



靴を履いて足元のけがを防ぐ

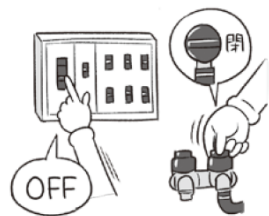


火が出ていたら消火を



ドアや窓を開けて
出口を確保

テレビや
ラジオ、
スマート
フォンで
情報収集



ブレーカーを
落とし、
ガスの元栓を
締める

避難

- 避難の際は落下物や足元、ブロック塀の倒壊に注意
- 非常持ち出し品を持参
- 家族や隣近所に声をかけて一緒に避難
- 緊急車両の妨げになるので、車で避難しない
- 災害伝言ダイヤルやSNSなどで避難先を知らせる



自宅にとどまるのが危険と判断したら

避難の判断

自宅が安全と判断したら

自宅待機

- 家庭内備蓄を活用
- 余震や火災が広がる恐れがあるので、いつでも避難できる体制を準備

むやみに移動すると助かる命を救えない?

大地震が発生した直後に、多くの人が一斉に帰宅しようとすると、路上や駅周辺では大混雑が発生し、集団転倒に巻き込まれたり、沿道建物からの落下物等により負傷する恐れがあります。また救助活動や消火活動、救援物資輸送などの妨げにもなります。建物が安全な場合、むやみに移動を開始しないでその場にとどまり、状況の把握や家族の安否確認を優先しましょう。

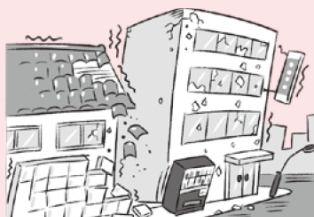


ご協力をお願いします

ここで地震に遭遇したら

◆外出中

屋外にいるときはブロック塀や自動販売機が倒れたり、瓦や看板が落下する可能性があるので、建物から離れます。



◆エレベータの中

全ての階のボタンを押し、止まった階で降ります。閉じ込められた場合はインターホンを押し、救助を要請します。



◆車の運転中

ハザードランプを点灯しながらゆっくり減速して路肩に車を止め、キーを挿したままドアロックせず車から離れます。車検証など貴重品を持って逃げましょう。



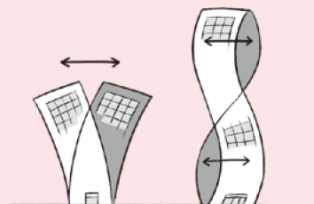
◆電車の中

立っている人は手すりやつり革につかまり、座っている人はかばんなどで頭を守ります。揺れが収まったら乗務員の指示に従い避難します。危険なので勝手に線路に下りてはいけません。



◆高層ビル・マンション

震源地から遠く離れていても、ビルやマンションの高層階ではゆらゆらとした揺れが長時間続き、家具が大きく移動する恐れがあります。安全な空間で頭を守って揺れが収まるのを待ちます。



2-3 津波

押し寄せてくる津波から命を守るには、逃げるしかありません。津波が襲ってくるスピードはとても速いため、津波の危険がある場所で地震が起きたり、津波警報などが出たらすぐに避難しましょう。

避難すべきタイミング

- ①地震の揺れを感じたとき
- ②大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されたとき



避難する場所は「より遠く、より高く」

海や川沿いにいたり、津波浸水想定区域にいる人は急いでその場を離れ、高台や津波に対応している指定緊急避難場所に避難しましょう。



※指定緊急避難場所への避難の途中で津波の危険が差し迫った場合、浸水時緊急退避施設へ避難しましょう。浸水時緊急退避施設に指定されている建物にはこのようなマークが付いています。

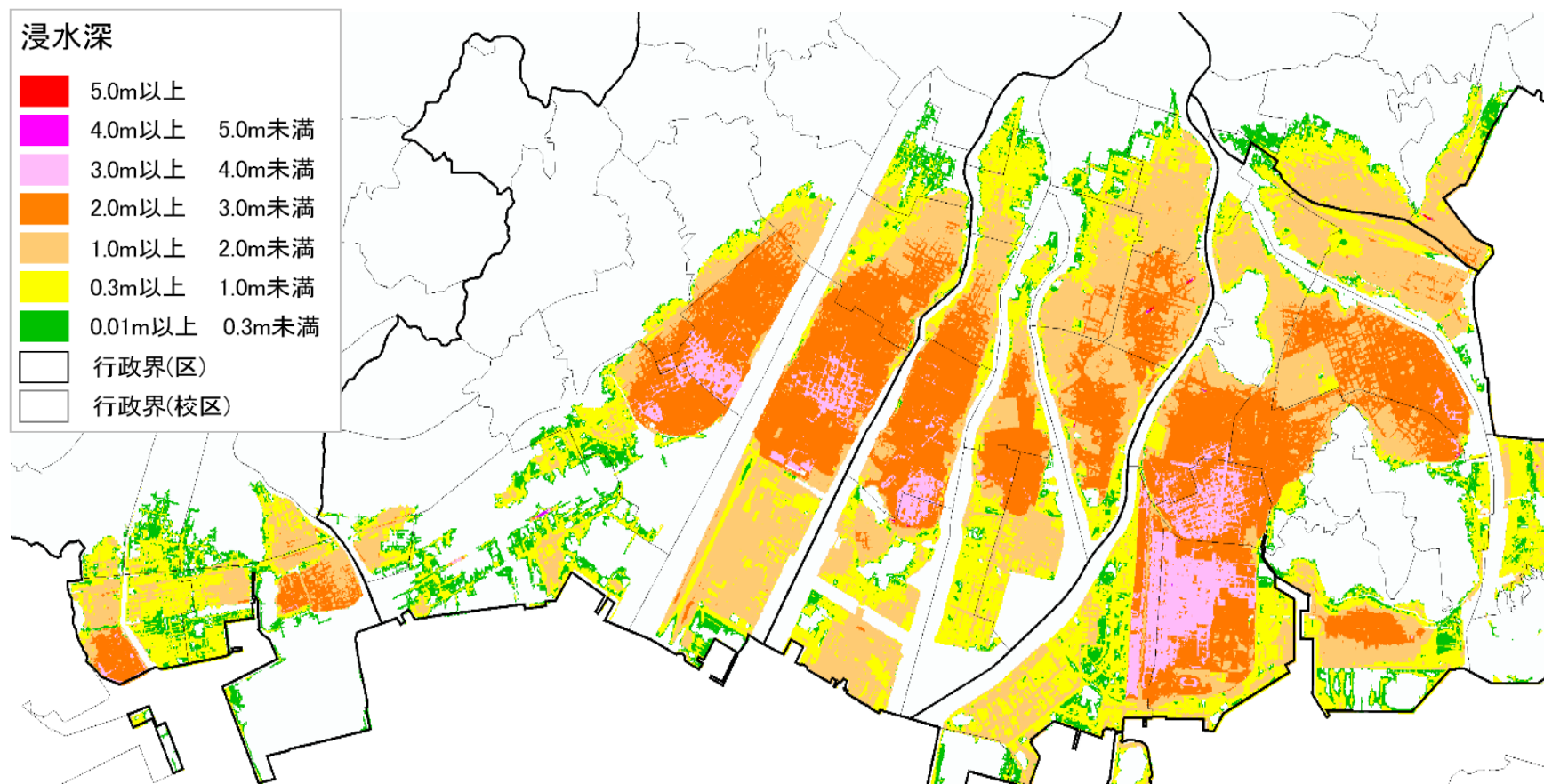


避難したあとは

津波は繰り返し襲ってきます。初めの波より後の波のほうが大きいこともあります。大津波警報や津波警報、津波注意報が解除されるまでは絶対に海や川沿いに近づかないでください。



南海トラフ巨大地震が発生した際の津波浸水想定図

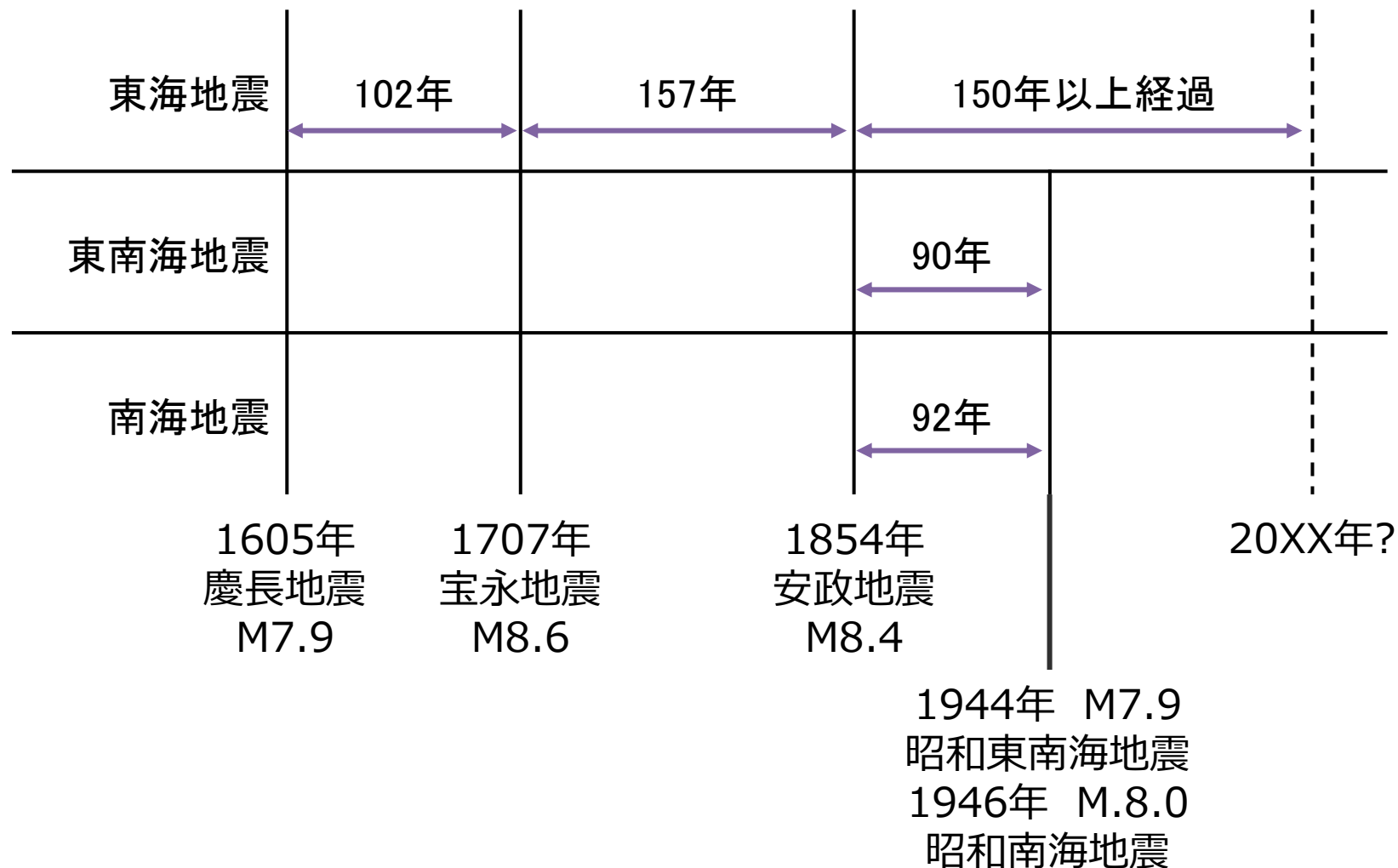


年間で最も潮位が高い時に地震が発生し、堤防等の護岸施設が、地震動による破壊や液状化による沈下などで十分に機能しないなどの状態で、津波が到達することを前提条件としています。

【南海トラフ巨大地震】

- ・ 津波の高さは最高で1.5m(海拔3.6m)、浸水深が大きく浸水域も広がるため、高い場所に逃げてください。
- ・ 最大波到達時間は、地震発生後約4時間と想定されていますが、津波の影響は、早いところで約30分後に出始めるため、速やかに安全な場所に逃げてください。

南海トラフ地震 30年以内に70～80%で発生する可能性？



地震発生による影響

古い建物

電話

道路

電車（交通機関）

電気・ガス・水道



間接的な影響として、物流の遮断等による物資不足・価格高騰も
＝「対岸の火事」ではない！！

地震に備える

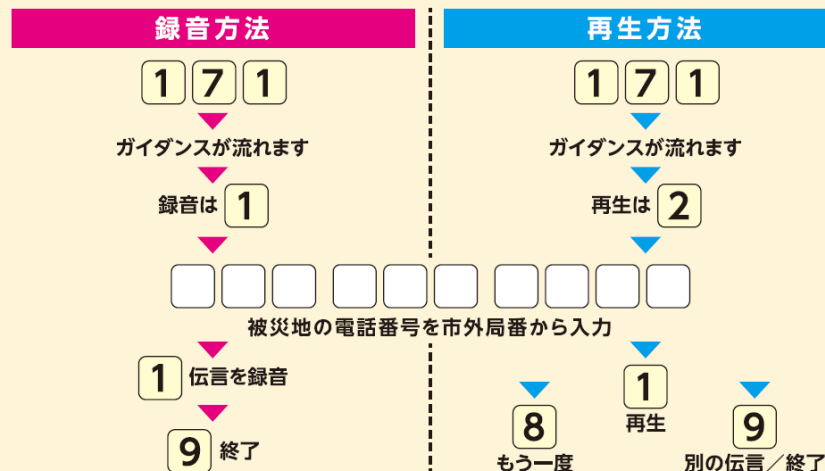
- 安否確認手段の確認
- 家具固定
- 減災グッズ
- +
- 徒歩で帰宅する準備
(運動靴を職場に準備する)

LINEのグループトーク
機能を活用した
安否確認・情報伝達事例も

資料編 安否確認

災害用伝言ダイヤル(電話サービス)

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により被災地への通話が増え、電話がつながりにくくなった場合に提供されるサービスです。



【注意】登録できる電話番号(被災地電話番号)
災害により電話が繋がりにくくなっている地域の電話番号および携帯電話・PHS・IP電話の電話番号。
なお、電話番号は市外局番から入力していただく必要があります。

災害用伝言板(web171)

被災地の方々の安否情報を、インターネットを利用して確認できるサービスです。

<https://www.web171.jp>

携帯電話各社の災害伝言板



NTT ドコモ



au

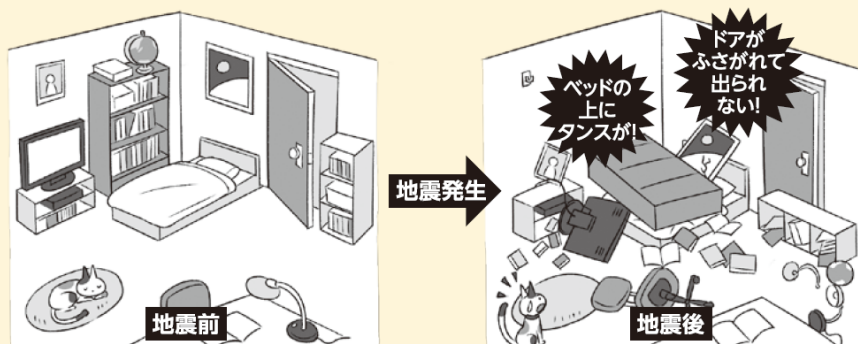


ソフトバンク

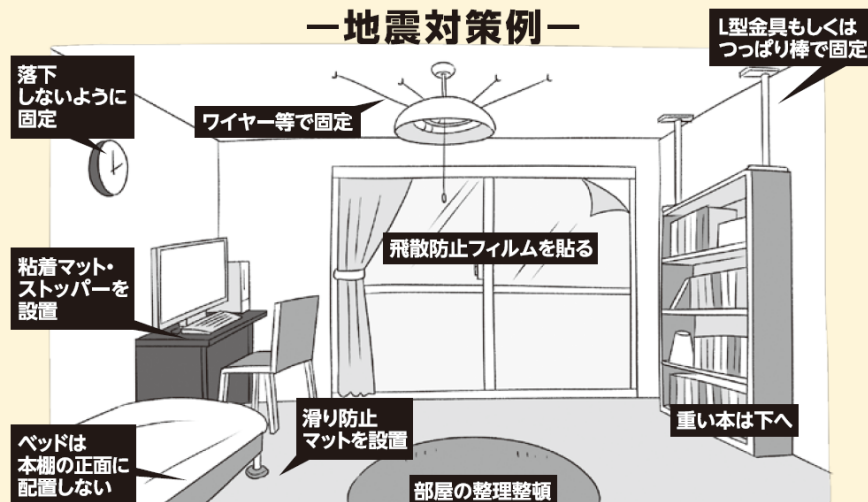
1-6 室内を安全な空間に

阪神・淡路大震災では、建物の中でけがをした人の約半数は家具の転倒・落下が原因だったという調査結果があります。地震で家具の下敷きとならないよう、室内を安全な空間にしましょう。

地震対策がされていないと・・・



—地震対策例—



高い場所に重い荷物を置かない

家具の上にテレビやガラス製品など重いものを置くと、地震の際に落下する恐れがあるので、置かないようにしましょう。また、本棚などは重いものを下に、軽いものを上に置くと重心が低くなり、転倒しにくくなります。



寝室に家具をなるべく置かない

無防備な就寝中に地震が発生したら、倒れてくる家具からとっさに逃げるのができません。寝室だけでなく、子ども部屋や高齢者の方が過ごす部屋も家具をなるべく置かないようにしましょう。



避難経路を確保する

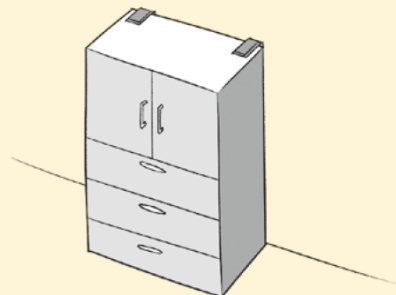
逃げ道がふさがれないように、部屋の出入り口や玄関に倒れやすい家具を置かないようにしましょう。



倒れやすい家具を固定しよう

①L型金具を使ってしっかり固定

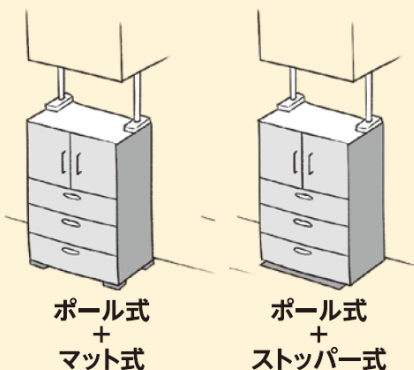
家具を壁にねじ留めで固定する方法です。もっとも強度が高く効果が期待できます。



L型金具(下向き取付け)

②2種類の器具を使って固定

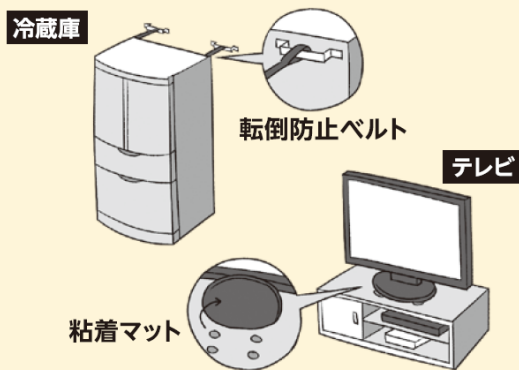
壁に穴を開けられない場合は、ポール式器具とマット式(粘着シート)やストッパー式(くさび)を組み合わせる固定しましょう。どちらかだけの場合より強度が高まります。



ポール式
+
マット式

ポール式
+
ストッパー式

冷蔵庫は転倒防止ベルトを用いて、テレビやパソコンはマット式(粘着シート)を用いて固定しましょう。



冷蔵庫

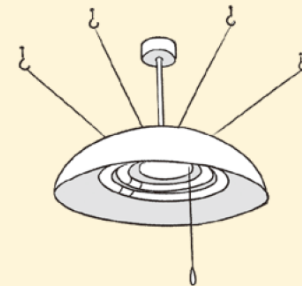
転倒防止ベルト

テレビ

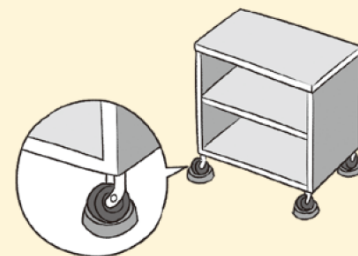
粘着マット

家具の落下・移動を防止をしよう

吊り下げ式の照明器具はチェーンやワイヤーで数カ所留めて固定しましょう。



キャスター式の家具は、ストッパーで動かないようにしたり、キャスターに移動防止の下皿をおきましょう。

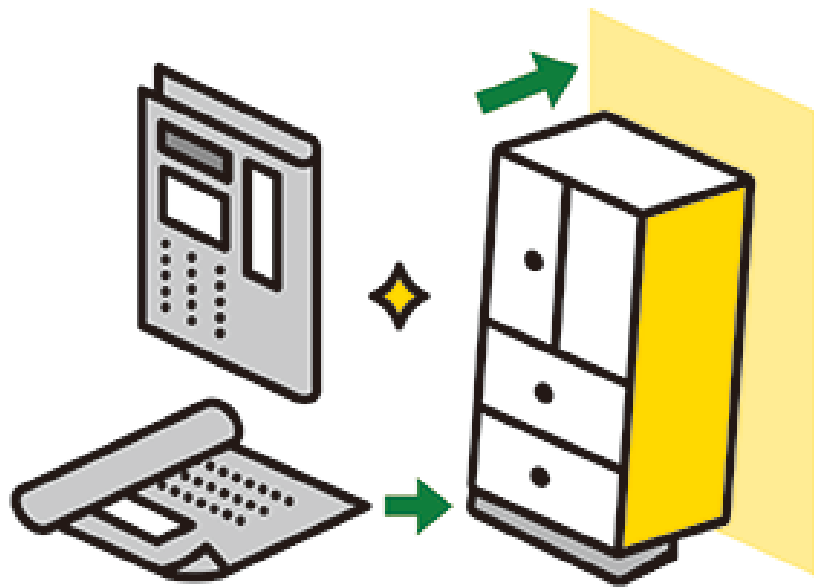


ガラスの飛散防止を

地震だけでなく、台風による強風などで飛散物が窓にぶつかり、ガラスが割れる恐れがあります。割れた窓ガラスが飛散しないよう、飛散防止フィルムを貼り、薄いレースカーテンを常に閉めておくようにしましょう。また、地震で食器が飛び出てこないように、食器棚のガラスにも飛散防止フィルムを貼しましょう。

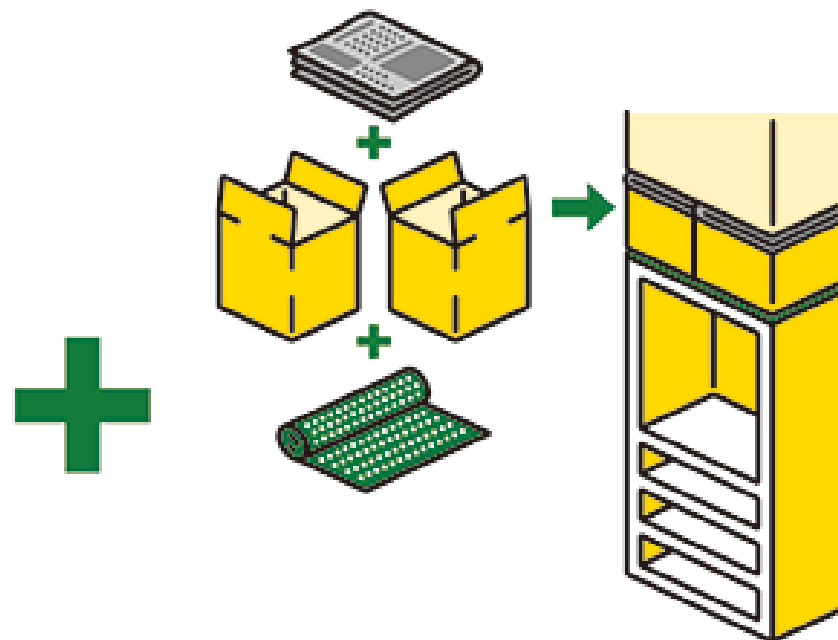


壁を傷つけない固定方法



新聞紙をたたんだもので、
家具を壁側に傾斜させる。

家具の転倒防止のお金をかけない「合わせ技」



家具と天井の隙間を
段ボール箱などでつめる。

イラスト ©文平銀座+NPO法人プラス・アーツ

1-5 非常持ち出し品を準備しよう

自宅に危険が差し迫り、屋外へ避難することになった場合、避難所などの避難先で過ごすために必要なものを、非常持ち出し品として準備しましょう。

基本の非常持ち出し品リスト

防災訓練に持っていく！

- | | |
|---|----------------------------------|
| ☐ 水(500mlのペットボトルを3本程度) | ☐ 雨具(カッパ) |
| ☐ 非常食(缶詰、ビスケット、チョコレートなど) | ☐ お薬手帳 |
| ☐ 懐中電灯・ヘッドライト | ☐ 笛 |
| ☐ 携帯ラジオ | ☐ マスク |
| ☐ 乾電池 | ☐ 簡易寝袋 |
| ☐ 携帯電話用充電器 | |
| ☐ 現金(小銭を多めに) | |
| ☐ 簡易携帯トイレ | |
| ☐ 衣類 | |
| ☐ タオル | |



POINT!

非常持ち出し品は、両手が使えるようにリュックに入れ、家族の人数分用意しましょう。重くなりすぎないように、背負って走れる重さを目安に。非常持ち出し品を入れたリュックを玄関に置いておくと、いざというときにすぐに避難をすることができます。



自分自身や家族構成に合わせて、以下を参考に基本の非常持ち出し品にプラスしましょう。

◆乳幼児がいる家庭なら・・・

- ☐ 粉ミルク、離乳食(アレルギー対応)、哺乳瓶
- ☐ 紙おむつ、おしり拭き
- ☐ 母子手帳のコピー



女性なら・・・

- ☐ 生理用品
- ☐ 化粧品



高齢者なら・・・

- ☐ 老眼鏡
- ☐ 普段から服用しているお薬
- ☐ 入れ歯、入れ歯洗浄剤
- ☐ 介護保険証のコピー



外出中に災害にあう可能性もあります。いざというときのために、最低限の防災グッズを常にバッグの中に入れておくと安心です。

- ☐ 飲み物
- ☐ 笛
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ ウエットティッシュ
- ☐ マスク
- ☐ 携帯電話用充電器
- ☐ あめ、チョコレートなど



1-4 家庭内備蓄を確認しよう

南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生した場合、物流やライフラインがストップして、救援物資がすぐに届かない恐れがあります。自宅に大きな被害がなかった場合、住み慣れた我が家で生活ができるように、日ごろから各家庭に必要な食料や日用品などを備えておきましょう。

企業の備蓄の場合は、従業員用に加え、来客者への対応をも必要です。

POINT!

食料と飲料水は最低でも3日分、できれば1週間分用意

POINT!

「ローリングストック法」で備えよう

普段から少し多めに食料や飲料水を買っておき、消費期限の近いものから消費し、消費したらその分だけ新しく買い足すことで、常に一定量の食料や飲料水を家に備蓄しておくことを「ローリングストック法」といいます。食料や飲料水だけでなく、日用品にも応用できます。

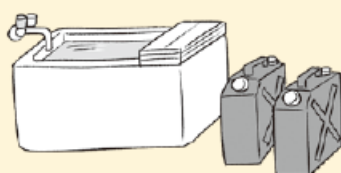
ローリングストック法の図



POINT!

水は飲料水だけでなく生活用水も必要

断水時には飲料水だけでなく洗濯やトイレを流す生活用水の確保にも困ります。お風呂の水をすぐに抜かず溜めておいたり、ポリタンクに水道水を入れて保管しておきましょう。



備蓄品の例

◆食料・飲料水

- ☐ 普段消費する食料を少し多めに(卵、肉、魚、野菜、米など)
- ☐ インスタント食品、レトルト食品
- ☐ 菓子(チョコレートなど)
- ☐ 缶詰
- ☐ 飲料水(1日1人3リットルが目安)



◆日用品

- ☐ ラジオ
- ☐ 懐中電灯・ランタン
- ☐ カセットコンロ・ガスボンベ
- ☐ 食品包装用ラップ
- ☐ 使い捨てカイロ
- ☐ 持病の薬・常備薬
- ☐ ティッシュペーパー・ウェットティッシュ
- ☐ ビニール袋
- ☐ 簡易トイレ
- ☐ 衣類
- ☐ 乾電池
- ☐ マスク



過去の災害では、多くの被災者が「温かいものが食べたかった」と語っています。カセットコンロがあれば、お湯を沸かしたり、備蓄している食料を調理できます。



このほか、乳幼児や高齢者、障害者、病気療養中の方、アレルギー疾患のある方がいる家庭は、必要な食料や日用品を多めに備蓄しておきましょう。

マンションの高層階に住んでいる人は、地震が発生してエレベーターが止まったら、階段で物資を運ばなければならないので、普段から多めに食料や飲料水などを備蓄しておきましょう。

本日の講座（ポイント）

平成30年の災害

平成30年7月豪雨災害の概要と教訓

地域の危険性

土砂災害、洪水、高潮、地震、津波などの地域の危険性を確認

個人の備え

災害前：情報入手手段、避難先、非常持ち出し品、家庭内備蓄
災害時：避難行動

共助（助け合い）

自主防災組織の活動、
地域の防災マップ作成、防災訓練等の企画（参加）

3-2 自主防災組織の平時の活動

自主防災組織の平時の活動は、災害時に効果的な活動ができるよう事前の備えをすること、そして地域住民の防災意識向上や自主防災組織の活動への積極的な参加を促すことです。

平時の活動

1	2	3
防災知識の普及啓発	わがまち防災マップの作成	防災訓練の実施

自主防災組織の活動を継続させるためにも、まずは、年間の活動計画を立てましょう。

年間活動計画の例

4月	役員会での防災DVD上映	11月	【津波防災の日(11月5日)】 秋祭りに合わせて炊き出し訓練
5月	こども会行事での防災工作教室	12月	まち歩き(地域の危険箇所や避難場所を歩いて確認)
6月	地域の小学校で防災研修会		【防災とボランティア週間(1月15日～21日)】
7月	町内清掃での情報伝達訓練	1月	・生活避難場所運営訓練 ・とんど祭りでの初期消火訓練
8月	【防災週間(8月30日～9月5日)】 ・夏休みを利用して防災キャンプ ・8.20豪雨災害を踏まえて避難訓練	2月	今年度の活動の振り返り
9月	敬老会で防災工作教室	3月	次年度の活動計画の作成
10月	町内運動会でバケツリレー		

POINT!

無理なく活動を行うために、地域のお祭りや運動会などの行事に合わせて開催するといった工夫をしましょう。

3-2-1 自主防災組織の平時の活動 防災知識の普及啓発

地域住民が防災に関する知識を習得できるよう、普及啓発に取り組み、地域ぐるみで防災意識を醸成しましょう。

防災研修会・防災教室の開催

学識経験者や防災士、地域の防災リーダーを講師として招き、地域で防災研修会や防災教室を開催しましょう。住民が防災に興味を持ったり、地域活動へ参加するきっかけ作りとなります。



防災に関するチラシの作成・配布

過去に地域で起こった災害や防災知識、自主防災組織の活動内容についてチラシや活動紙を作り、地域で回覧したり防災フェスティバルなどで配布し、住民へ防災の意識付けをしましょう。



POINT!

子どもに対して防災知識の普及啓発をすると、帰宅後に家族への普及効果が期待できます。

自主防災組織の平時の活動

3-2-2 わがまち防災マップの作成

わがまち防災マップとは、土砂災害警戒区域等の危険情報をもとに、地域の危険箇所や避難場所などの地域独自の情報を盛り込んで地域で作成する防災マップです。わがまち防災マップ作成に多くの地域住民が参加することで、防災情報を共有だけでなく、地域のきずなが深まります。地域の防災リーダーと協力し、わがまち防災マップを作成しましょう。

◆マップ作成例（東区早稲田学区自主防災連絡協議会作成）



◆作成の流れ（例）

1 作成地域を決める

まず、区役所に相談しましょう。



2 アドバイザーによる作成説明会

必要に応じて、市から派遣するアドバイザーがマップ作成に関する説明をします。



3 地域での話し合い

進め方を検討しましょう。



4 地域を知る

災害時の被害や問題点を地図上で想定し、考えます。



5 まち歩き

地域の危険箇所を、実際に歩いて確認しましょう。



6 マップ作成・印刷・配布

わがまち防災マップを作成するとこんなメリットが！

- ◎地域の隠れた危険箇所を写真や文字で「見える化」できる
- ◎AED設置施設など、災害時に役立つ施設の場所がわかる
- ◎災害の種類に応じた安全な避難経路や避難場所がわかる
- ◎避難のタイミングなど、必要な情報を掲載できる
- ◎防災訓練や防災研修会で活用できる

自主防災組織の平時の活動

3-2-3 防災訓練の実施

平時に防災訓練を実施することで、実際に災害が発生したときにどのように行動すればよいか、自分の役割は何かなどがわかり、落ち着いて災害対応ができます。また地域住民と防災意識の共有を図ることができます。地域の防災力を高めるために、防災訓練を行いましょう。

防災訓練を行う際の留意点

- ◎正しい知識・技術を習得するために、消防署や区役所の指導を受けましょう。
- ◎地域の実情に即した訓練内容にしましょう。
- ◎訓練終了時に訓練内容を見直し、必要な改善を行いましょう。
- ◎地域内の事業所等の自衛消防組織や
近隣の自主防災組織とも共同して訓練を行いましょう。
- ◎避難行動要支援者にも配慮した効果的な訓練内容にしましょう。
- ◎時間帯や曜日を工夫しましょう。
- ◎事故防止に努めましょう。

防災訓練の種類

◆避難時の訓練 避難訓練

◆避難所での訓練 情報収集・伝達訓練 給食・給水訓練

◆応急訓練 消火訓練 水防訓練 救出・救護訓練

いくつかの防災訓練を組み合わせ、より実践的な内容としましょう。

①避難訓練

突然の災害にも落ち着いて避難行動を取ることができるよう、避難経路や避難場所の確認をする訓練です。



◆参加する人は…

避難経路や避難所の安全について確認するだけでなく、避難時の非常持ち出し品や安全な服装について考えておきましょう。また、実際の災害時を想定して、自宅を出る前に、ガスの元栓を閉めたり電気ブレーカーを切るシミュレーションをすると、より実践的な内容となります。



◆自主防災組織は…

避難誘導班を中心として組織ぐるみで避難の要領を把握し、避難場所まで安全に避難できるよう訓練しましょう。さらに避難行動要支援者の避難支援が想定どおり機能しているかを確認しましょう。



POINT!

地域で作成した「わがまち防災マップ」(46ページ参照)を活用しましょう。

3-3 自主防災組織の災害時の活動

災害時には防災訓練で訓練した内容に基づき、避難誘導や情報収集、人命救助などを行きましょう。指定避難所ごとに作成されている「指定避難所運営マニュアル」に基づき、避難場所を運営していきます。次の事例を参考に、各自主防災組織で運営方法を確認しましょう。

人手が足りない班は他の班から応援に行ったり、避難者にも協力を依頼し、全員で避難所運営を行きましょう。

◆本部

①本部の設置・役割分担の確認

会長、副会長、各班のリーダーが集合し、それぞれの役割分担を確認します。

②防災関係機関との連絡調整

各班が収集した情報等を必要に応じて区役所や消防署に連絡し、指示を受けます。

③各班の運営指導

区役所や消防署から指示された内容を各班の班長に伝え、対応を指示します。



◆避難誘導班

①避難誘導

避難場所を伝達し、住民を避難所へ誘導します。

②避難完了後の地区内警備

空き巣対策のため、警察や消防と協力し地区内を警備します。



◆救援救護班

①救援救護

避難者の中にけが人がいないか確認し、けがの程度が軽ければ応急手当を行い、医療行為が必要な人がいれば救急車を呼びます。また、倒れた建物の下敷きになっている人などの搜索や救出活動、消火活動を行います。

②要支援者の支援

避難行動要支援者名簿(同意者リスト)をもとに、避難所に来ていない高齢者等の安否確認を行います。



◆情報広報班

①情報収集と取りまとめ

被災状況、避難状況、避難所の状況、けが人などの情報を収集し、とりまとめて、本部へ伝えます。

②避難者へ情報伝達

本部から入手した情報を、掲示板などで避難者へ伝達します。

◆給食給水班

水・食料・生活必需品の調達・配布

水道が使用できるか、飲料できるか確認します。また、避難者の人数から食料や毛布などの生活必需品の必要数を把握し、本部へ伝えます。必要に応じて炊き出しを行います。



◆施設管理班

①避難所の安全確認

建物や校庭の状況を確認し、危険な箇所があればテープや張り紙で注意喚起をしたり、不審者がいないか見回りをします。

②トイレ・ごみ対策

避難場所のトイレが使用できるかを確認し、トイレの使用方法を避難者に周知します。また、ごみの搬出場所を指定します。

3-4 地域の防災リーダー

自主防災組織の会長の補佐役となり、地域で防災意識を高めるための活動を率先して行う人が地域の防災リーダーです。広島市では防災に関する正しい知識と技能を修得するため防災士の資格取得制度を活用しており、防災士の資格を取得された方が地域の防災リーダーとして活動しています。

活動内容

①自主防災組織の活動に参加

防災訓練や防災研修会等を企画したり参加し、地域防災力の向上に取り組んでいます。防災講演会で講師をしたり、地域のイベントで防災工作教室を開催するなど、自身の強みを生かした防災活動をしている防災リーダーもいます。



②地域の防災リーダー同士で情報共有・協力

他の防災リーダーが行っている防災活動を地域に取り入れたり、防災リーダー同士で協力し合って地域防災力の向上のための活動に取り組んでいます。

③わがまち防災マップの作成

まち歩きや図上訓練に参加し、地域の危険箇所を住民と情報共有しながら、わがまち防災マップの作成に取り組んでいます。またアドバイザーとして作成に参加する防災リーダーもいます。



④災害時には率先避難

災害が発生しそうな時や発生時には、地域住民に声かけをし、率先して避難をします。

広島市防災士養成講座の流れ (受験に関する主な費用は広島市が負担)

① 受講申込み

② 普通救命講習受講



お住まいの小学校区の
自主防災会連合会長からの推薦

③ 自宅学習 事前学習レポート

最終日の試験は教本から出題
択一式（三択）の試験



④ 2日間の研修講座受講



⑤ 最終日の試験に合格

☆防災士☆

養成講座の様子



被災者の声

平成26年8月に広島市を襲った豪雨で2人の息子を亡くした主婦

「もう二度と子供たちを悲しい思いにさせない。笑顔を守る」

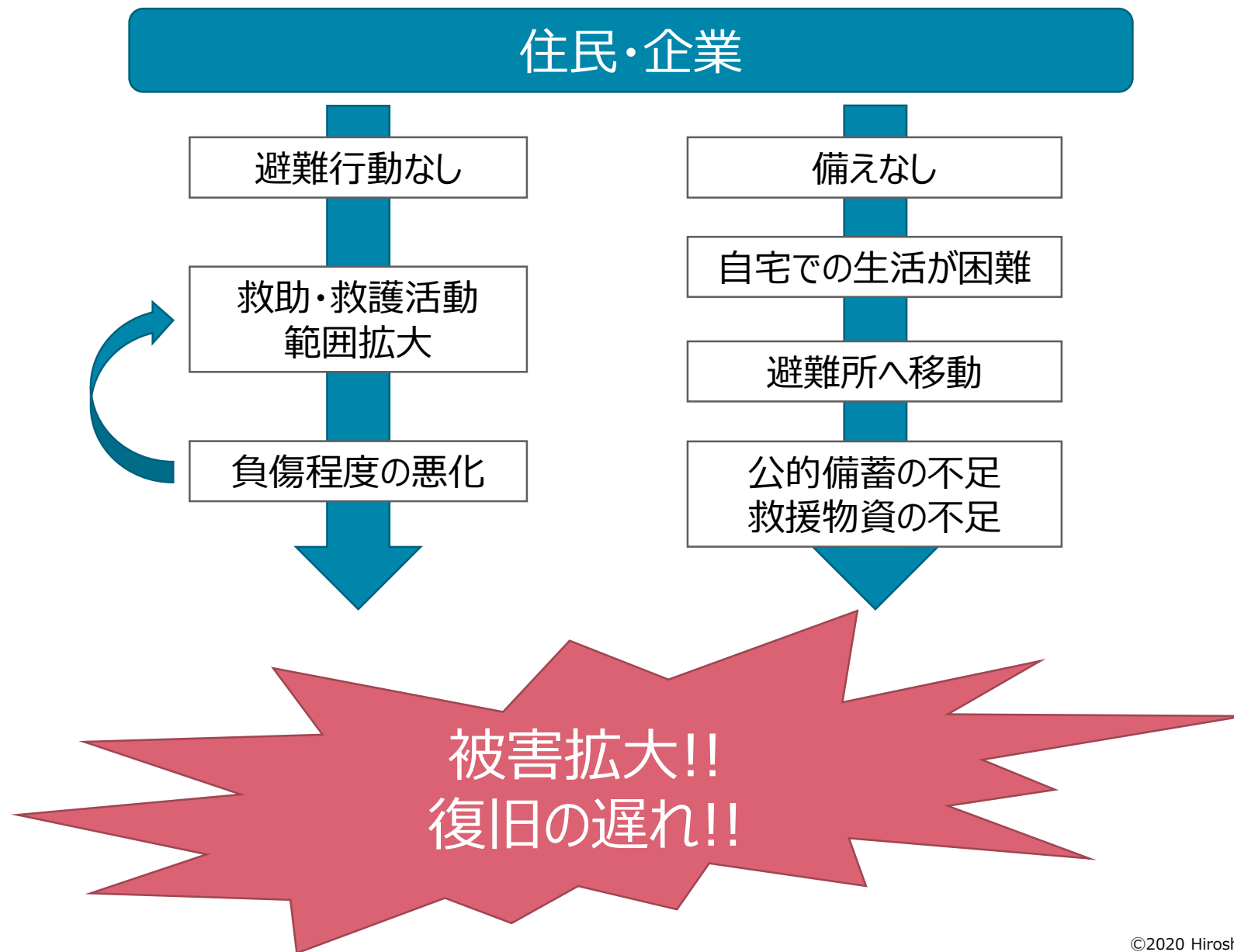
8月20日、同市安佐南区の自宅の裏山が崩れ、轟音（ごうおん）とともに土砂が流れ込んできた。山側の1階和室で寝ていた長男(11)と三男(2)、が一瞬で土砂にのみ込まれた。別の部屋にいた平野さんは辛くも助かったが、2人の死後、何度も自分を責め、家に引きこもる日が続いた。兄と弟を失い、怖い夢を見ては泣いていた次男が、少しずつ元気を取り戻し、昨年8月に長女が誕生した。家族の笑顔が増えた。2人の幼い息子を亡くした悲しみは深いが、「どんな状況にあっても前向きに生きることはできる」と信じている。

裏山と反対側の部屋に飾る2人の遺影に、平野さんは毎日のように手を合わせる。

「娘は、物心ついたころには亡くなった兄がいるということを、自然と受け入れていくでしょう。少しずつ災害のことを話していきたい。4人きょうだいということを忘れないように。」

（産経新聞 H29.8.17） 抜粋

まとめ



災害時に被害を最小化するには、 住民と行政が一体となった取組が不可欠

普段からの近所付き合い

ほどよい距離感を維持することで、災害時に近くの人が助け合うことのできる環境を作る



居住地域の危険性や災害時の避難方法を理解して必要な行動

自助（個人）

自主
防災

それぞれの
役割に応じて
有効に機能

共助（地域）

情報伝達・避難の際に、
住民同士の助け合い

公助（行政）

適切な時期に
防災情報を発信

大切な人との時間を守るために、普段から少しずつ防災を